



4月の行事(進路関係等)

- 7(木) 平成28年度第1学期始業式
- 8(金) 第54期生・入学式
- 11(月) スタディサポート①②③
教務・生徒指導オリエンテーション①
進路希望調査②③
新入生オリエンテーション①
- 12(火) 進路オリエンテーション①②③
対面式 身体計測等
- 13(水) 授業開始 校内実力試験③
学習法オリエンテーション①(～14木)等
- 14(木) 理数科合同LHR
- 16(土) 理社課外③
- 18(月) SSHワークショップオリエンテーション
- 19(火) 放課後課外開始①②③
- 22(金) 7校時なし 進路ガイダンス③
- 23(土) 理社課外③
- 24(日) 全統プレステージ③
- 25(月) 公開授業週間(～28木)
- 27(水) 緑陽祭原案説明会
- 28(木) 金曜日授業 生徒集会等
- 29(金) **昭和の日**
PTA総会・学年総会・進路講演会
- 30(土) 理社課外③

※○数字は学年を示します

<速報!!・平成27年度末・第51期生「大学」合格状況>

3月23日(水)、今年度の国公立大学及び私立大学の入試結果が全て出揃いました。第51期生の進路状況の速報を伝え、その健闘を讃えたいと思います。

祝・合格 国公立大学現役合格137名!!

医学部医学科への現役合格者は13名(4年連続現役2桁合格)

内訳は次のとおりです。

◇国公立大学(現役のみ)

北海道4
北見工業1
東北4
山形1
福島1
茨城1
筑波5
埼玉2
千葉1
御茶の水女子1
東京3
東京学芸2
東京海洋1
東京外国語1
東京農工2
横浜国立2
新潟1
富山2
山梨42
信州8
静岡5
名古屋3
大阪3
神戸1

奈良女子1
九州1
秋田県立2
山形・米沢養1
会津1
高崎経済1
前橋工科1
千葉・保健医療1
首都大学東京2
神奈川保健福祉1
横浜市立1
長岡造形1
新潟県立看護1
福井県立1
都留文科8
山梨県立9
静岡県立1
静岡文化芸術2
大阪府立1
県立広島1
高知県立1
北九州市立1

◇私立大学(現役のみ)

東北医薬	北里	拓殖	東京都市	山梨学院
つくば国際	共立女子	玉川	武蔵野	山梨英和
足利工業	杏林	中央	武蔵野美術	健康科学
自治医科	国立音楽	帝京	明治	長野
上武	慶應義塾	東海	明治学院	松本
埼玉医科	工学院	東京医科	明星	諏訪東京理科
城西	國學院	東京家政	立正	聖隷川北
日本工業	国士館	東京家政学院	早稲田	中京
文教	駒澤	東京経済	学習院女子	名古屋芸術
目白	実践女子	東京工科	白梅女子	名古屋造形
人間総合科学	芝浦工業	東京慈恵医科	神奈川	藤田保健衛生
神田外国語	順天堂	東京電機	神奈川工科	京都学園
淑徳	上智	東京農業	関東学院	同志社
聖徳	昭和	東京薬科	相模女子	立命館
千葉経済	昭和女子	東京理科	鶴見	京都文教
千葉工業	女子美術	東洋	東京工芸	近畿
東京歯科	成蹊	日本	たけな学院	関西学院
桜美林	成城	日本社会事業	横浜創英	奈良
大妻女子	専修	日本女子	新潟医療福祉	
学習院	大東文化	法政	帝京科学	

私立大学の合格者数については、正確な数字を提示するまでには至っていませんので、平成28年度にホームページ等で公開します。

<大学受験は「恋愛」と一緒?!>

さて、いよいよ4月になると第52期生が本校の最高学年、第53期生が中堅学年になります。一人一人が「なりたい自分」になるために、自己を磨いてほしいと願っています。頑張ってくださいね。

ところで、皆さんがこれから個々の進路を考えて行くに当たって、一つだけ…。「受験は“恋愛”と一緒に」と肝に銘じてください。片思いで終わるか、両思いになって成就させるかは本人の姿勢次第です。

推薦入試で、志望理由書の作成や小論文、面接などに臨む際…、あるいは一般受験で目当ての大学の入試に臨む際…、もっともっと、受けたい大学の呼吸を感じられるほどに、その大学に興味を持ってください。

人を好きになった経験があればわかるでしょう。(以下、私自身が男性ですので、「男性目線」の書き方になりますが、読者が女子であれば適宜、融通してください。)

人を好きになると…「誕生日」「生い立ち」「血液型」…実は知ったところで大したメリットもないようなことでも、好きな人のことであれば知りたくなるのが人情…ですよね。そして憧れの人に気に入られるために(or見合う人間になるために)、時に涙ぐましい努力をするものなのでしょう。受験も本来は同じです。そこに合格できれば幸せ…と夢を描くのであれば、もっともっと憧れるべきだと感じます。理念、歴史…何でも知ろうぐらいの好奇心を持ってください。学長の名前だって知って当然かも知れません。

志望理由書や小論文はラブレター、面接は告白、学力試験は好きな人から評価されるためのアピール(?)に似ていると思いませんか。ただ、これらは一朝一夕に成し遂げられるものではありません。思い焦がれて、何度も悩み、苦勞して、周りの協力を得ながら、ようやく日の目を見るものなのでしょう。その過程が受験勉強…。どうですか?…目指す大学に対して、イイ恋愛(イイ受験)をしましょう。

<南高生に読んでもらいたい一冊>



今回紹介するのは河原理子著『戦争と検閲―石川達三を読み直す』(岩波新書、2015)です。副題になっている石川達三(1905~1985)は今から81年前、太宰治などの有力候補を押さえて、『蒼氓』という作品で第1回芥川賞を受賞した人物ですが、『文藝春秋』に掲載される際、芥川賞受賞作「蒼氓」は伏字だらけの作品になり、昭和13(1938)年に中央公論社から刊行された「生きてゐる兵隊」は発禁処分を受けました。

本書は「生きてゐる兵隊」発禁の経緯を、裁判記録や日記などによって描き、言論統制下の社会に警鐘を鳴らす一冊です。著者の河原理子氏は、雑誌『AREA』副編集長などを経て、現在、朝日新聞社甲府総局長を務めていらっしゃる方です。4月29日(土)に開催されるPTA総会の日、例年どおり午後には保護者の皆様を対象にした進路講演会を行います、その講師として河

原理子氏を招聘する予定です。記者として長年、社会を見つめてきた河原氏から、これからの時代に必要な素養や高校生を育てる保護者の皆様に有益な視点をお話いただける機会になると思います。ぜひ保護者の皆様にはふるって御参加いただきますことをお願い致します。

<平成27年度進路だより「Frontier Spirit」の最終号…徒然なるままに…>

この一年間、進路だよりはその時々、皆さんに何かを考えてもらえる機会、感じてもらえる機会になれば…と考えて作成してきました。毎回約900枚を印刷し、全校生徒と先生方に配付した後、本校ホームページに掲載しましたが、果たして900枚のうちの何枚がちゃんと読んでもらえたかはわかりません。ただ、生徒や先生方から書いた内容について話しかけられたり、<南高生に読んでもらいたい一冊>コーナーで紹介した本を「買った(読んだ)」などと言われることが嬉しく、やりがいを感じてきました。

これから10年、20年、30年…と過ぎたころ、もしも、この進路だよりによって書いてきた何か、皆さんの血(知)となり、肉となるものを(少しでも)提供することがあるとすれば、冥利に尽きます。

先日、浪人していた第50期生が志望校に合格したことを報告に来てくれました。その折、彼は私に「現役の時には余裕がなかったので赤本を徹底的に…って感じでした。でも今年は赤本をやりませんでした。その教科のことを本当に理解できれば、〇〇大学用の対策なんて必要ないって思って、とにかく基礎から徹底的にやり直しました。」と話してくれました。彼のその言葉は、浪人したからこそ…の発言かも知れません。しかし、「本物の力を持つとすること」の大切さを悟った彼の目には自信が感じられました。彼はこれから、本当に「学ぶ」ということの楽しさに触れていくことでしょう。

今、私はデューイ著(宮原誠一訳)『学校と社会』(岩波文庫)を読んでいます。「学校とは暗記と試験にあけくれる受動的な学習の場ではなく…」という見出しに惹かれました。また「大学とは職業教育の場ではない。専門知識をよりよく使うためにも一般教養教育が必要…」という見出しに共感して購入したJ.S.ミル著(竹内一誠訳)『大学教育について』(岩波文庫)は次に読むつもりです。更に今月発売される今井むつみ著『学ぶとは何か―〈探究人〉になるために―』(岩波新書)もいずれ購入したいと考えています。我々の毎日には、目を開き、前さえ向けば、…つまり興味さえ持てば、楽しいことがいっぱい転がっています。そこに、興味を持って深みにはまり、知るほどに迷い、だから更に知りたくなる…そんな姿勢は、年を経るごとにいつまでも持ち続けたいものです。

いつか、そんな面白みを皆さんと語ることができる日が訪れることを楽しみにしています。

※平成27年度進路だより「Frontier Spirit」は今号を以て最終号と致します。最後までお読みいただいたことを感謝致します。またどこかでお会いできることを楽しみにして閉じます。